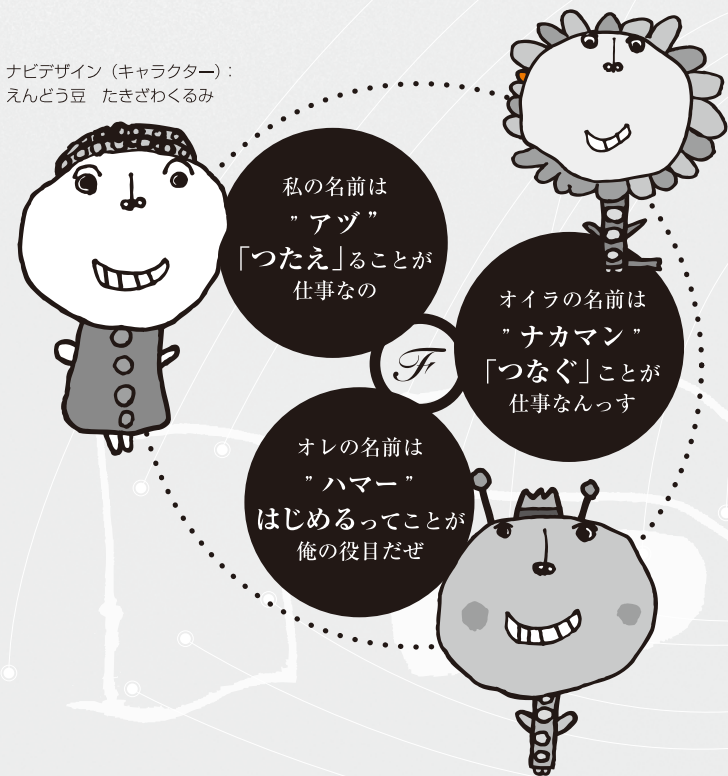




震災後、多くのご支援をいただき、今こうして復興へと一歩一歩踏み出しております。これもひとえにみなさまの暖かいご支援のおかげです。多くのものを失いましたが、多くの仲間を支えられたことは、わたしたちにとって、かけがえのない宝です。そして、ようやく約2年半を迎えます。

ナビデザイン（キャラクター）：
えんどう豆 たきざわくるみ



ここから「つたえ・つなぎ・はじめる」



きょうされん
第36回

全国大会 in 東北・ふくしま

日時 2013年9月21日(土)22日(日) 21日13:00 スタート、22日(日)15:30 終了
開催場所 福島県郡山市熱海町 磐梯熱海温泉「郡山ユラックス熱海」

お問合せ：きょうされん第36回全国大会 in 東北・ふくしま実行委員会事務局 〒963-8025 福島県郡山市桑野 1-5-17 深谷ビル B202
TEL:024-983-3542 FAX:024-983-3543 全国大会ホームページ <http://kyosaren-fukushima.org/zenkokutai2013/>

主催：きょうされん

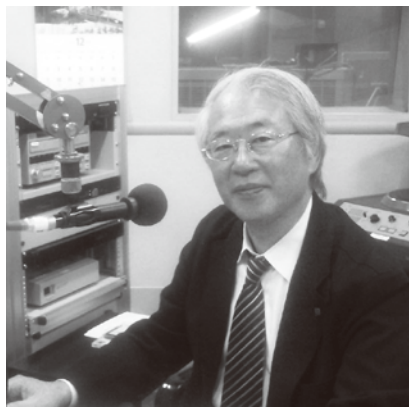
後援：青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県、福島県内市町村、福島県社会福祉協議会、福島県内市町村社会福祉協議会、福島県教育委員会、福島県内市町村教育委員会、他



参加のお誘い

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」



『鎮魂から復興へ』～今福島から伝えることの大切さ

実行委員長 大和田 新

(ラジオ福島 編成専任局長)

2011年3月11日（金）午後2時46分・マグニチュード9の大地震が大地を揺るがし、その1時間後、東北地方沿岸部を大津波が襲いました。死者行方不明者は2万人を超える未曾有の被害をもたらした「東日本津波・原発大震災」の発生です。翌3月12日午後4時前、東京電力福島第1原子力発電所1号機が水素爆発を起こし、緊張が走る中、今度は14日・15日と相次いで第1原発が爆発しました。当時、ヘリコプターから視察していた菅総理に対し、こんな歌が送られてきました「蟻のごと逃げ惑う群集を、首相は空から視察しており」。原発事故後わたしたち福島県民は、見えない放射能の恐怖と闘ってきました。「直ちには影響ないと繰り返す、官房談話に無策がすける」当時こんな歌も寄せられました。スピーディー（緊急時迅速放射能影響予測システム）の情報も公開されず、国への信頼感がしだいに薄れていきました。

今、福島では12万人が故郷をおわれ、5万5千人が県外へ避難し、仮設住宅などで不自由な生活を送っています。震災から2年が過ぎ、原発事故による無理な避難によるストレスから体調を崩し、肥満・高血圧・糖尿病・認知症などの持病が悪化し、将来の不安から自ら命を断つ人も増えています。震災関連死（私は原発震災関連死だと思っている）は被災3県の中で福島県が突出して多くなっています。その現実が忘れ去られようとしています。この震災で、障がいを持つ仲間もたくさん犠牲になりました。あと少しの支援があれば助かった命もあります。救われた命も、苦しい避難生活を強いられ、厳しい現実にとらされています。障がい者や高齢者にとってこの国の支援は充分なのでしょうか。

私は震災以来、福島県内の1000人を超える中高生にインタビューしてきました。そして最後に必ず将来の夢を聞きました。男子は「警察官・自衛隊・消防士・医者・教師」。女子は「看護師・教師・介護福祉士・警察官・美容師」等の答えが返ってきました。それはどれも、人の役に立ちたいという思いに満ちあふれていました。

原発廃炉まで40年、気の遠くなるような歳月の先にある福島県の復興を担うのは間違いなく子ども達です。その子ども達の為に、わたしたち大人が今何が出来るかをしっかり考え、責任ある行動をとらなければならないと思っています。

オープニングは、津波で亡くなった友への慰霊のために踊る、いわき海星高校の「じゃんがら念仏踊り」で始まり、生きる希望と命の輝きに満ちた小名浜高校の「フラガール」によるフラダンスで「鎮魂から復興」を表現します。

「もう頑張らない、だけど絶対にあきらめない」そんな思いを、全国に発信する2日間にして参ります。福島で会いましょう。



参加のお誘い

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」



今この時だからこそ福島に集いましょう

ここから「つたえ つなぎ はじめる」大会に

きょうされん理事長 西村 直

2013年9月21日と22日、福島県にお集まりください。

きょうされん第36回全国大会が、福島県郡山市の磐梯熱海を会場に、福島の障がい関係団体ときょうされんの東北全支部が準備する特別大会として開催されます。

「えっ！福島で大会を行なうの」と驚かれる人も多いと思います。「復旧、復興は？」「街は？経済は？」「原発事故の影響は？」と。

東日本大震災から今年の3月11日で2年を迎えました。きょうされんは地震発生直後から「きょうされんはひとつ」を合い言葉に、作業所利用者・職員の安否確認、物資調達等の緊急支援、被災障害者宅の訪問・救援活動、避難実態の調査、継続的な現場支援、被災地支援募金活動等、全国の関係者の心と力を集めて、被災地域の障がいのある人たちが一日でも早く通常の生活が取り戻せるよう、支援を続けてきています。

この2年余のなかで、津波で建物が流された作業所「きらら女川」の再開や、福島第一原子力発電所のある浪江町にあった作業所「アクセスホームさくら」の内陸に移転しての再開などがありました。心も体も打ちひしがれ、厳しくつらい状況の中でも前を向いて踏ん張り、復旧、そして復興に向け奮闘してきたたくましい姿が生まれています。

しかし、この震災がもたらした被害は大きすぎました。被害に対する国や東京電力などの対応は、「安定で安心した日常生活」を奪われた被災地域の住民の生活実態とはあまりにもかけ離れ、その上に時間がかかりすぎているといわざるをえない状況です。

東日本大震災における障がいのある人の死亡率が、障がいのない市民の2倍との実態が報じられました。障がいのある人たちの仕事・住まい・健康などの被災実態は、いまなお十分に掘りだしていません。さらに、原発事故による影響は、住まいや健康を脅かすだけでなく、家族や地域の絆も切り裂き、差別や排除を生んでしまう事態を起こしています。

一方で、今日の障害関連制度や社会保障・社会福祉の流れは、2倍以上の死亡率に表れた障がいのある人たちの軽んじられた「命の重み」を取り戻すことも含めて、障害者権利条約が謳う「障害のある人たちは権利の主体」としてあたりまえの生活を担保する方向へとすすんでいるのでしょうか。障害者権利条約の批准の条件である現行法制の見直し・整備と合わせて、介護保険制度や生活保護制度など社会保障制度拡充の姿はみえてきません。「経済効率最優先」の施策が、命の尊厳、人と人とのつながり、地域のコミュニケーション（絆）を壊してしまう方向に向かわせかねないと危惧します。

わたしたちは、今この時だからこそ全国大会を東北・ふくしまで開催します。「働く」「住まう」「支えあう」について見つめ直し、「やらなければならないこと」と「できること」をみなさんと一緒に確かめ合いたいのです。

きょうされんは、今年の第36回総会にて今後5カ年の活動計画である「きょうされんビジョン2017」を決定し、新しい節目に向かって歩き出します。「障がいのある人が一人の市民として認められ、あたりまえに生きていける社会」をめざして、今大会をきょうされんといっしょに『ここから「つたえ つなぎ はじめる」』大きな一歩にしたいと思います。

みなさん、ぜひ東北・ふくしまでの全国大会に集いましょう。



参加のお誘い

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

大会開催趣旨・大会テーマ ここから「つたえ つなぎ はじめる」

多くの尊い命と暮らし、仕事、
楽しみを奪い取った東日本大震災後、懸命に多くの困難に立ち向かってるみなさんに、心から敬意を表します。
そして、今なお続く全国からの多くの支援に、心から感謝いたします。

地震が起こる前、わたしたちは新しい福祉施策をつくろうとしていました。
障害者自立支援法違憲訴訟で国が示した合意文書をかみしめ、多くの国が、
署名した障害者権利条約の批准にふさわしい法整備をめざしていました。

今まで多くの障がい者が望み、声をあげ続けてきた
「当たり前暮らし、働き、楽しみを持って生きるために」

2011. 3. 11、あの大地震が起きました。

命を奪われる障がい者
避難できない障がい者
仕事を失う障がい者
原発事故賠償請求をあきらめる障がい者

新しい福祉施策をつくろうとしていた時、
起きた地震・津波・原発事故は、障がいがあるがゆえに負わされてしまった多くの困難を見せつけました。
そして、命を守り、つなぎ、暮らしや仕事をとりもどそうと、その困難に東北は立ち向かってきました。

国が作ろうとしている障害者施策は、被災した東北を救えるのか。
もし、同じことが日本のどこかでおきた時、

命を奪われた障がい者を救えるのか。
避難できなかった障がい者を救えるのか。
仕事を失い、なんの保障も受けられなかった障がい者を救えるのか。
原発事故賠償請求をあきらめた障がい者を救えるのか。

東北で起きたことを、東北が立ち向かったことを
今、日本がめざし、作り上げなければならないことを
ここから「つたえ つなぎ はじめる」のです。

東北を応援してくれたみなさんと
東北の復興新生に、がんばっている障がいのある仲間と支える人たちと
多くの困難を背負わせてしまった未来を築く若い人たちと
復興新生のため、懸命の努力をしている東北・ふくしまの企業、団体、関係者たちと

ここから「つたえ つなぎ はじめる」のです。
多くの支援への感謝と未来への道しるべをしめす全国大会を
東北が、ふくしまが、勇気と夢と希望を持って元気に歩いていくための全国大会を東北ふくしまで
2013 年 9 月 21 日（土）22 日（日）開催いたします。



目次

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

INDEX

参加のお誘い	第36回全国大会実行委員長 大和田 新	2 P
参加のお誘い	きょうされん理事長 西村 直	3 P
参加のお誘い	開催趣旨	4 P
目次 (INDEX)		5 P
大会スケジュール		6 P
9/21 (土)	開会全体会 オープニングセレモニー	7 P
	開会全体会 基調報告 きょうされん常務理事 藤井 克徳	8 P
	開会全体会 対談『鎮魂から復興へ』大和田 新とふくしまの仲間たち	9 P
	大交流会	10 P
9/22 (日)	分科会	11 P
	利用者フォーラム	12 P
	特別企画 一般公開シンポジウム 「支えあう・地域・人権、そして未来」	13 P
	なかまの視察観光メニュー	14 P
	分科会・特別企画・視察観光等一覧	15 P
	宿泊施設一覧	16 P
	宿泊施設マップ① 磐梯熱海	17 P
	宿泊施設マップ② 猪苗代周辺アクセス	18 P
	大会会場アクセスマップ	19 P
	参加申し込み方法① 参加費・申し込み方法・締切	20 P
	参加申し込み方法② 参加費支払・キャンセル等	21 P
	参加申し込み方法③ 申込書記入説明	22 P
	参加申し込み方法④ 臨時列車・東北新幹線団体割引・送迎バス	23 P
	国内旅行保険 保険案内	24 P

※別紙 参加申込書1枚、サポートカード1枚、航空券・J R券等申込書1枚



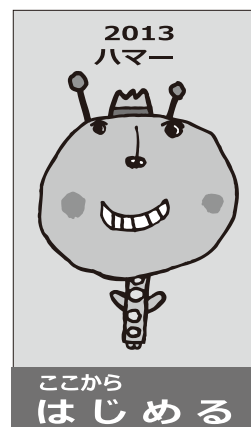
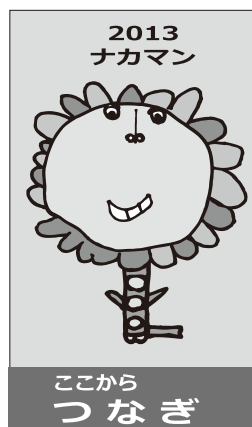
大会スケジュール

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

9 月 21 日 (土)		9 月 22 日 (日)	
	1 日目		2 日目
12:00	受付	7:30	視察観光 <ul style="list-style-type: none"> ●南相馬 (7:30 ~ 15:30) ●いわき (8:00 ~ 15:30) ●会 津 (8:00 ~ 15:30)
13:00	オープニングセレモニー		
13:35	開会全体会	8:30	分科会受付
		9:00	分科会 <ul style="list-style-type: none"> ●働く ●住まう ●支えあう
14:40	休憩		利用者フォーラム <ul style="list-style-type: none"> ●つながる
14:50	対談 『鎮魂から復興へ』 大和田 新とふくしまの仲間たち		
17:25	移動	12:00	昼食・休憩
		13:00	一般公開特別シンポジウム 『支えあう・地域・ 人権、そして未来』 障がい者と原発問題
18:30	交流会 1 ●第 5 回グッズデザイン コンクール表彰式		
19:30	交流会 2 (二次会)	15:00	まとめ <ul style="list-style-type: none"> ●大会アピール ●第 37 回神奈川大会引き継ぎ
20:00	交流会 1 終了	15:30	
21:00	交流会 2 (二次会) 終了		
1 日目終了		大会終了	

きょうされん第 36 回全国大会 in 東北・ふくしま 大会進行ナビゲーター





開会全体会

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

オープニングセレモニー

「3.11あの時 わたしたちは」

東北6県仲間の詩・歌で紡ぐ構成詩～



2011.3.11 あの瞬間から、わたしたちの生活は一変しました。
津波で大切な仲間や家族を失ったこと、
原発事故で避難をしなければならなかったこと。

そして、いち早く応援にかけつけてくれた仲間の思い。
『あの時』を、ふくしまからのメッセージと東北6県の仲間の詩で紡ぎます。
そして、つらいことがたくさんあっても、3.11のことを忘れずに、ここからまた
前に進んでいく。この大会が明日からの力になるように、元気いっぱいな仲間
のパーカッション演奏と歌で大会をスタートします。

出演者：青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島のなかまと職員約150名

作業所商品販売コーナー

「被災3県 福の市」

岩手・宮城・福島

東北のなかまの商品をおみやげにしてね



全国大会キャラクターカンバッジ販売！

※会場の都合上、岩手・宮城・福島3県の商品販売となります

全国作業所グルメ発掘
プロジェクト入選商品も出店予定
(青森・岩手)

青森	つくしの家	りんごジュース
	あいゆう工房	りんごジュース
	いわきの里	奇跡のりんごかりんとう
岩手	ステップ	しあわせ大福

是非！！味わってくださいねー





開会全体会

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

基調報告



東日本大震災からの復興、新生に向けて
しなやかで強い社会をめざして制度改革の継続を

きょうされん常務理事 藤井 克徳

東日本大震災ならびに福島第一原子力発電所事故の発生から 2 年余を経過しました。しかし、被災地の障害のある人の被害状況や生活実態については、未だ政府による正確な調査は行なわれていません。大災害は、その社会の課題や弱点を丸裸にするとされています。「もろく弱い社会」としないためにも、新たな自然災害への対応という面からも、なぜ障害のある人の死亡率が住民全体平均の 2 倍以上になったのか、早急で徹底した検証が求められます。

セーフティネットの最後の砦とされている生活保護制度が、生活扶助基準の引き下げという形で大きく変質しようとしています。生活保護制度の後退は、社会保障制度全体の後退の入り口を意味します。自己責任や自助努力がますます声高に強調されるのではないのでしょうか。わたしたちは、自己責任や自助努力という響きに、空恐ろしさを禁じ得ません。なぜならば、障害は自己責任でどうにもならないことを体で覚えているからです。障害に自己責任を重ねるとき、そこに浮かび上がるのが障害のある人の存在そのものを否定する考え方です。障害分野への影響が必至の、自己責任や自助努力をベースとする生活保護制度の後退については、絶対に認めるわけにはいきません。

他方、障害者権利条約の批准を展望しながら進められてきた推進会議とその後継である障害者政策委員会についてですが、ここにきて急ブレーキがかかっています。障害者差別禁止法の制定や障害者総合支援法の附則に掲げられた「三年以内検討課題」の行方は、不透明な状況が続いています。その背景に何があるのか、この段階での運動はどうあるべきか、これらを明らかにしなければなりません。

この他にも、本年度から始まった新障害者基本計画の特徴、同じく本年から向こう 10 年間にわたって展開される新「アジア太平洋障害者の十年」の意義とこれに伴って設定された「インチョン戦略」（アジア太平洋全域でとりくむ活動や事業の指針）など、国の内外の障害分野に関する最新動向をわかりやすく解説します。

以上を踏まえたうえで、わたしたちの結集軸をどこに置くのか、何を成すべきか、この点についても言及したいと思います。



開会全体会

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

対談『鎮魂から復興へ』

～大和田 新と福島のなかまたち～

震災後、ふくしまを伝え続けてきたラジオ福島アナウンサー大和田新氏と福島のなかまたちとのリレー対談です。
これからのふくしまを、東北を、日本を担う若者たちの熱い思いを伝えます。



対談聞き手、そして福島を伝える

第36回全国大会実行委員長

大和田 新

●大和田 新（おおわだあらた）氏
職業：ラジオ福島 アナウンサー
編成専任局長

【プロフィール】

1955年神奈川県横須賀市出身、中央大学法学部政治学科卒業。大学在学中はアナウンス学校にも通う。高校時代の友人が失明し、資格取得の手伝いをしたことがきっかけとなり、多くの視覚障がいの方々との交流が生まれ、声の図書館などの朗読活動を始める。一時は福祉関係の職業につくことも考えたが、ある施設の館長からの「一生視覚障がい者につきあっていきたくしたら、福祉を外から見の仕事を選びなさい」という一言がきっかけでアナウンサーを志す。

1977年ラジオ福島入社。アナウンサーとなっても、多くの障がいのあるの方々との交流を続けている。震災直後、ふくしまの状況を心の底から発信し続ける。

～出演者紹介～

いわき海星高校チームじゃんがら

鎮魂 いわき海星高校チームじゃんがらによる『じゃんがら念仏踊り』
鉦や太鼓をならし、亡くなった方を供養するための踊りです。
家族を助ける途中で津波に流された仲間の魂を供養するため、
高校生たちが踊り始めました。

小名浜高校フラガールズ

チーム「ヒワラニ カイカマーヒネ」による、フラダンス。
いわきには、炭坑の閉山により誕生し、苦難に立ち向かった
フラガールの歴史があります。
いわきの復興のため、日本一をめざして！

奇跡のピアノ

いわき市豊間中学校で津波にのまれ、置き去りにされていたピアノ。
入学から卒業まで、多くの子どもたちの学校生活を見守ってきました。
このピアノを瓦礫にしてはならない。もう一度響かせたい。
多くの方の思いと努力で復活したピアノは子どもたちに希望を与えています。その音色を感じてください。

その他の出演者の皆さん





大交流会

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

交流会1 「ようこそ 東北へ」

大会のお楽しみはやはり交流会。食べて、飲んで、大いに盛り上がりましょう。

各地のみなさんとお知り合いになるチャンスです。

会場ではアトラクションの他、抽選会も予定しています。

場所： ホテル華の湯 郡山市熱海町 5-8-60 電話 024-984-2222

会費 6,500 円 / 400 名限定 先着順になりますのでご容赦下さい

時間 18 : 30 ~ 20 : 00

※今回は交流会2（二次会）も用意しています。

交流会2（二次会）「ありがとう 元気です」

岩手・宮城・福島への支援活動へのありがとうの気持ちを伝えたい。

地酒の用意もあります。ゆっくり語り合いましょう。

場所： 清稜山倶楽部 郡山市熱海町 5-18 電話 024-984-2811

会費 3,500 円 / 200 名予定

時間 19 : 30 ~ 21 : 00

*交流会2（二次会）のみの参加もOKです。ただし、食べ物はおつまみ程度になります。ご了承ください。

*移動について

①大会会場 郡山ユラックス熱海からは100円バス（※23P）をご利用下さい。

②交流会会場から宿泊場所へは、送迎バスを運行します。

③華の湯から清稜山倶楽部までは徒歩で移動できます。（約3分）



大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

全体のテーマ 被災地の生きるを考える

震災を受けてその大切さをあらためて思い知らされた「働く・住まう・支えあう」の3つを柱に、一人ひとりの体験やおもいを通して ここから「つたえ つなぎ はじめる」を共有する場にしていきます。

働
く

「分科会 1 働く」 やっぱりわたしたち働きたい

コーディネーター（敬称略）
西澤 心（ワークショップほのぼの屋・施設長）
斉藤なを子（鴻沼福祉会・常務理事）

シンポジスト

松原千晶（きらら女川・施設長）
佐藤定広（南相馬ファクトリー・代表）
西條一恵（あすなろホーム・施設長）

9月22日（日）9:00～12:00 申込番号 ①

会場：郡山ユラックス熱海（大会議室）定員 400 名 先着順

働く場と仕事を失って、何もすることのない時間と給料が払えない辛さを実感。人と人のつながりから、事業所再開や仕事おこしへのさまざまな挑戦が始まっています。あらためて働く意味と大切さを考えます。

住
まう

「分科会 2 住まう」 どんな場所でも安心と自分らしさを

コーディネーター（敬称略）
後藤 強（ゆたか福祉会・常務理事）
松本多仁子（かがやき神戸・副理事長）

シンポジスト

熊井睦子（輝くなかまチャレンジどころさをり・施設長）
栗田 誠（JDF いわて支援センター・事務局員）
西みよ子（あさがお・理事長）

9月22日（日）9:00～12:00 申込番号 ②

会場：清稜山倶楽部（西館 1F）定員 250 名 先着順

地震・津波・原発事故で、県外への避難や仮設住宅やグループホームへと暮らしの場を変えざるを得なかった人たち。いつでもどこでも、安心して暮らしていくために求められるものは何かを考えます。

支
えあう

「分科会 3 支えあう」 一人も置き去りにしないために

コーディネーター（敬称略）
古賀知夫（かしはらホーム・施設長）
増田一世（やどかりの里・常務理事）

シンポジスト

小山 貴（JDF いわて支援センター・事務局長）
西浦武義（元南相馬市健康福祉部長）
村松恵美子（ひまわりの家・事務局長）

9月22日（日）9:00～12:00 申込番号 ③

会場：郡山ユラックス熱海（会議室 1,2,3）定員 200 名 先着順

逃げられないと諦めた人や迷惑をかけてしまうと遠慮した人たち。個人情報保護の壁は、障がいのある人にどう影響したのでしょうか。人や医療とつながった時に実感できた安心や元気。そこから見えてきたものを考えます。



利用者フォーラム

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」



「利用者フォーラム つながる」

つながりは安心、つながりは力、つながりは勇気

9月22日(日) 9:00～12:00 申込番号 ④

会場：郡山ユラックス熱海（多目的ホール）

1部 3.11 あの時のことをきいてみよう

障がいがあることでたくさんの困難にぶつかった仲間がいます。
つながりの大切さが語られます。
ドキュメンタリー映画とみなさんの質問に被災した仲間が応えます。



2部 わたしたちをはげましてくれた歌をうたおう

震災のあとくじけそうな気持ちを、
元気にしてくれた歌、何度も聴いた安心の歌を、
リクエストの中から陸前高田ベンチャーズのみなさんと歌いませんか。



3部 元気になるお話をつくろう

東北には、宮沢賢治という童話作家がいました。
寒くて米がとれないときも、日照りで米がとれないときも、
お話をつくってきました。今日は、みんなでこれからのお話を
相談支援専門員によるお話しグループ「いちごみるく」のみなさん
といっしょにつくりましょう。



特別企画

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

一般公開シンポジウム (一般公開企画 ※この企画はきょうされん全国大会参加者以外の方も無料で参加できます)

『支えあう・地域・人権、そして未来』

障がい者と原発問題

9月22日(日) 13:00～15:00

会場：郡山ユラックス熱海 多目的ホール

障がいがあってもなくても当り前に暮らす時に大切なものは…。原発事故の中、ふくしまの人たちは「避難するかとどまるか」「食べるか食べないか」など苦渋の選択とそこから生まれる対立や分断、排除と悲しみの中で苦闘しています。

原発事故によって、明日の暮らしの先行きが見えにくいふくしま。今を知り、人と人がつながり、何ができるかを考え、一歩をどう踏み出すか…。そんな時間を創っていきたいと思います。

●シンポジスト(敬称略)

武藤類子(福島原発事故告訴団代表)

もと養護学校教諭。養護学校で作業所づくりにとりくむ。その後も作業所を応援し続ける。チェルノブイリの事故のあと、原発反対の運動にとりくみはじめる。ヒロアクション代表として、数々のとりくみのなか、3.11前に3月末に多くの人たちによる廃炉にむけた学習が計画されていた。特別支援学校を退職後、あぶくま山系の小さな喫茶店で、エネルギーを含め、山や里の恵で自給する生活を営む。この生活も原発事故で一変した。

河崎健一郎(弁護士・福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク共同代表)

弁護士。法律相談で訪れた福島市で自身と同じ子育て世代が低線量被曝の現実で苦悩している姿に直面し、政府指示による避難区域の外側からの避難の支援に特化した法律家団体を立ちあげる。多くの人たちとの連携の中「原発事故子ども・被災者支援法」の成立に尽力し、現在もその活動は続く。「答えのない問いと向き合う姿は、多くの人たちの共感を得る。」共著「避難する権利、それぞれの選択」

渋谷久美子(アクセスホームさくら・サービス管理責任者)

原発事故により浪江町が警戒区域となり、大切な職場アクセスホームさくらと共に避難を余儀なくされた。散り散りに避難した仲間たちの『早く一緒にまた仕事がしたい』という強い想いで二本松市での事業再開が決まり、復帰を希望していた。しかし、再開場所は放射線量が高く、両親、周囲に働くことを反対され、苦悩の日々を送った。その後、数々の出来事や大切な人との関わりを通して、アクセスホームさくらが自分にとっていかに必要な場所か、あらためて気付かされた。現在はアクセスホームさくらで、仲間達と共に元気に働いている。

和田庄司(JDF 被災地障がい者支援センターふくしま・元事務局長)

共働作業所にんじん舎職員。養護学校教員時代に武藤類子氏らと作業所づくりにとりくみ、38才で退職、作業所の職員となる。障がいの重い人たちと、働くことの意味を問いかけながら、循環するしくみを土台に平飼養鶏や無農薬有機にとりくむ。原発事故後は、崩壊したこのしくみの立て直しへの挑戦がはじまる。震災後、支援センターふくしまで、県内障がい者や作業所の支援にあたり、多くの困難を実感している。

●コーディネーター

西村 直(きょうされん理事長)

郡 信子(デイさぽーとぴーなっつ・ビーンズ所長)



なかまの視察観光メニュー

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」



2013 ナガマ 9月22日(日) 7:30～15:30 申込番号 ①

南相馬コース 案内人：さぽーとセンターぴあ 青田由幸

～困難に立ち向かう人たち、被災地と南相馬の事業所～

- ・募集人員：40名（最少催行人数35名）
- ・費用：5,000円（昼食付）

地震、津波、原発被災と三重苦にみまわれた南相馬。あの時以来、時は止まったままの被災地の現状も見ていただき、これまでに支援に来て下さった全国の皆さまへの感謝とともに、これからも被災地を忘れないで欲しいという思いを伝えたいと思います。

視察観光コース
07:30 磐梯熱海温泉⇒

【南相馬の事業所から現地案内人が震災時の状況を説明】⇒

被災地を視察（南相馬・小高）⇒

ロイヤルホテル丸屋（昼食）⇒

郡山ユラックス熱海 15:30 頃



2013 ハマニ 9月22日(日) 8:00～15:30 申込番号 ②

いわきコース

～希望の光を地域に灯す 塩屋崎 アクアマリンふくしま～

- ・募集人員：160名（最少催行人数35名）
- ・費用：6,800円減免申請者は5,500円（昼食・お土産付）

美空ひばりの歌「みだれ髪」にも出てくる塩屋崎にて写真撮影。津波の様子のお話も聞けます。津波の傷跡が残る沿岸部を通り、シーラカンスの稚魚の撮影に世界で初めて成功したことでも有名な復興の活力「アクアマリンふくしま」を見学。うれしいお土産付！

視察観光コース
07:45～08:00 磐梯熱海温泉⇒

塩屋崎⇒被災地視察（沿岸部）⇒

アクアマリンふくしま⇒

ら・ら・みゅう（昼食）⇒

郡山ユラックス熱海 15:30 頃



2013 ア 9月22日(日) 8:00～15:30 申込番号 ③

会津若松 Aコース（赤ベコ絵付け体験）

～立ち上げれ会津！八重の故郷をたずねて～

- ・募集人員：200名（最少催行人数35名）
- ・費用：6,800円減免申請者は6,500円（昼食・赤ベコ付）

福島県が生んだ偉人「野口英世」の記念館には、生家や母親からの手紙、野口英世ロボットがあります。世界に一つだけのマイ赤ベコ絵付け体験！もちろん、お持ち帰りできます。1年間限定オープンの大河ドラマ館、鶴ヶ城天守閣公園と見所満載のコースです。

視察観光コース
07:45～08:00 磐梯熱海温泉⇒

野口英世記念館⇒体験ひろば番匠⇒

大河ドラマ館⇒鶴ヶ城会館（昼食）⇒

鶴ヶ城天守閣公園⇒

郡山ユラックス熱海 15:30 頃



2013 アツ 9月22日(日) 8:00～15:30 申込番号 ④

会津若松 Bコース（飯盛山参拝）

～立ち上げれ会津！八重の故郷をたずねて～

- ・募集人員：200名（最少催行人数35名）
- ・費用：6,800円減免申請者は6,500円（昼食・お土産付）

基本的にはAコースと同じですが飯盛山を上まで登り、白虎隊の自刃の地を現地案内人がご案内。もちろん白虎隊演舞も観賞。起き上がり小法師のお土産付！山登りがありますので車椅子や足に自信のない方はご遠慮ください。

視察観光コース
07:45～08:00 磐梯熱海温泉⇒

飯盛山（参拝）⇒大河ドラマ館⇒

鶴ヶ城天守閣公園⇒

鶴ヶ城会館（昼食）⇒

野口英世記念館⇒
郡山ユラックス熱海 15:30 頃

分科会・特別企画・視察観光

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

9月22日（日）

申込 番号	企画名	内 容
①	分科会 (被災地の生きるを考える) 9:00~12:00	働く
②		住まう
③		支えあう
④	利用者 フォーラム 9:00~12:00	つながる
	特別企画 13:00~15:00	一般公開 シンポジウム

①	視察観光 7:30~15:30	南相馬	～困難に立ち向かう人たち、被災地と南相馬の事業所たち～ 被災地視察と南相馬事業所のお話
②		いわき	～希望の光を地域に灯す・塩屋崎・アクアマリンふくしま～ いわきアクアマリンふくしま見学
③		会津A	～立ち上がれ会津！八重の故郷をたずねて～ 赤ベコ絵付け 会津視察と赤ベコ絵付け体験
④		会津B	～立ち上がれ会津！八重の故郷をたずねて～ 飯盛山参拝 会津視察と白虎隊自刃の地視察



宿泊施設一覧

大会テーマ
ここから「つたえ つなぎ はじめる」

(9/21)	地図 番号	ホテル名	部屋 タイプ	宿泊料金 【大会当日(21日)】 (上段:1泊朝食付) (下段:1泊2食付)	申込 記号	ホテル近くの バス集合場所 ※ 17P参照	車椅子 トイレ	バリアフリー の部屋			
【S】 グループ	①	ホテル華の湯	和室 (定員4～6名)	10,000	S1	Ⓐ	1階 あり	あり			
				15,000	S11						
	②	萩姫の湯 栄楽館	和室 (定員4～6名)	10,000	S2	Ⓔ	あり	×			
				15,000	S21						
	③	四季彩 一力	和室 (定員5～6名)	10,000	S3	Ⓔ	1階 あり	洋室 1部屋			
				15,000	S31						
【A】 グループ	④	金蘭荘 花山	和室 (定員4～6名)	10,000	A1	Ⓒ	×	×			
				13,000	A11						
	⑤	旅籠松柏	和室 (定員4～6名)	10,000	A2	Ⓒ	あり	あり			
				13,000	A21						
	⑥	リステル猪苗代	洋室 又は 和洋室 (定員4～5名)	10,000	A3		1階 B1階 あり	あり			
				13,000	A31						
【B】 グループ	⑦	月の庭	和室 (定員4～6名)	9,000	B1	Ⓑ	×	×			
				12,000	B11						
	⑧	山城屋	和室 (定員4～6名)	9,000	B2	Ⓑ	×	×			
				12,000	B21						
	⑨	八景園	和室 (定員4～6名)	9,000	B3		あり	×			
				12,000	B31						
【C】 グループ	⑩	紅葉館 きらくや	和室 (定員4～6名)	9,000	C1	Ⓔ	×	×			
				11,000	C11						
	⑪	清稜山倶楽部	和室 (定員4～6名)	9,000	C2	Ⓑ	あり	×			
				11,000	C21						
	⑫	水林亭	和室 (定員4～6名)	9,000	C3	Ⓐ	×	×			
				11,000	C31						
	⑬	かんぽの宿 郡山	洋室 又は 和室 (定員4～7名)	9,000	C4	Ⓓ	あり	あり			
				11,000	C41						
	⑭	レイクサイド磐光	和室 (定員4～6名)	9,000	C5		あり	×			
				11,000	C51						
	地図 番号	ホテル名	部屋 タイプ	宿泊料金 【大会前日(20日)】 (1泊2食付)	申込 記号	ホテル概要	車椅子 トイレ	バリアフリー の部屋			
前泊 (9/20)	①	ホテル華の湯	和室(定員4～6名)	13,000	Z1	上記参考願います。					
	②	萩姫の湯 栄楽館	和室(定員4～6名)	13,000	Z2						
	④	金蘭荘 花山	和室(定員4～6名)	11,000	Z3						
	⑪	清稜山倶楽部	和室(定員4～6名)	10,000	Z4						
	⑫	水林亭	和室(定員4～6名)	11,000	Z5						
	地図 番号	ホテル名	部屋 タイプ	宿泊料金 【大会後日(22日)】 (1泊2食付)	申込 記号	ホテル概要	車椅子 トイレ	バリアフリー の部屋			
後泊 (9/22)	①	ホテル華の湯	和室(定員4～6名)	13,000	X1	上記参考願います。					
	②	萩姫の湯 栄楽館	和室(定員4～6名)	13,000	X2						
	④	金蘭荘 花山	和室(定員4～6名)	13,000	X3						
	⑪	清稜山倶楽部	和室(定員4～6名)	11,000	X4						
	⑫	水林亭	和室(定員4～6名)	11,000	X5						
※全宿泊施設(前泊・後泊含む)の定員1名マイナスにつき、1000円／名追加になります。											

これから「つたえ つなぎ はじめる」

全体会会場：郡山ユラックス熱海

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

湖畔の宿 志田浜温泉レイクサイド磐光と
磐梯^{高原}猪苗代^{温泉}ホテルリステル猪苗代アクセス



大会会場アクセスマップ

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

交通のご案内

〈お車で〉

- 東京 東北自動車道 211km 郡山 JCT 磐越自動車道 8km 磐梯熱海
- 東京 常磐自動車道 171km いわき JCT 磐越自動車道 80km 磐梯熱海
- 仙台 東北自動車道 110km 郡山 JCT 磐越自動車道 8km 磐梯熱海
- 新潟 磐越自動車道 132km 磐梯熱海

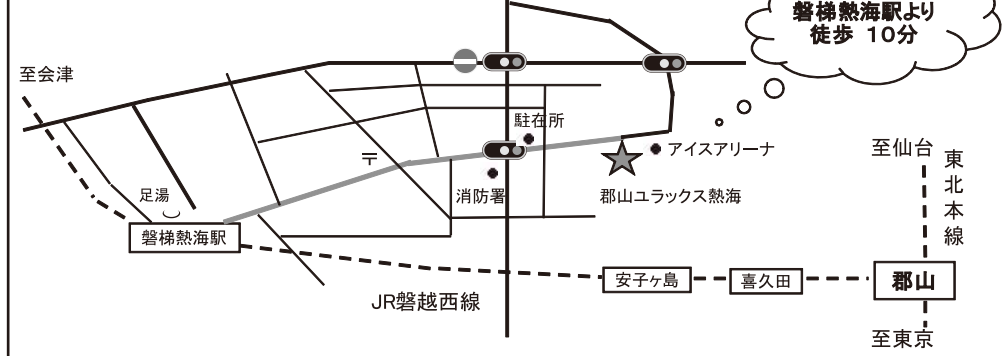
〈電車で〉

- 東京 東北新幹線 1時間 25分 郡山 磐越西線 快速 13分 磐梯熱海
- 仙台 東北新幹線 43分 郡山 磐越西線 快速 13分 磐梯熱海

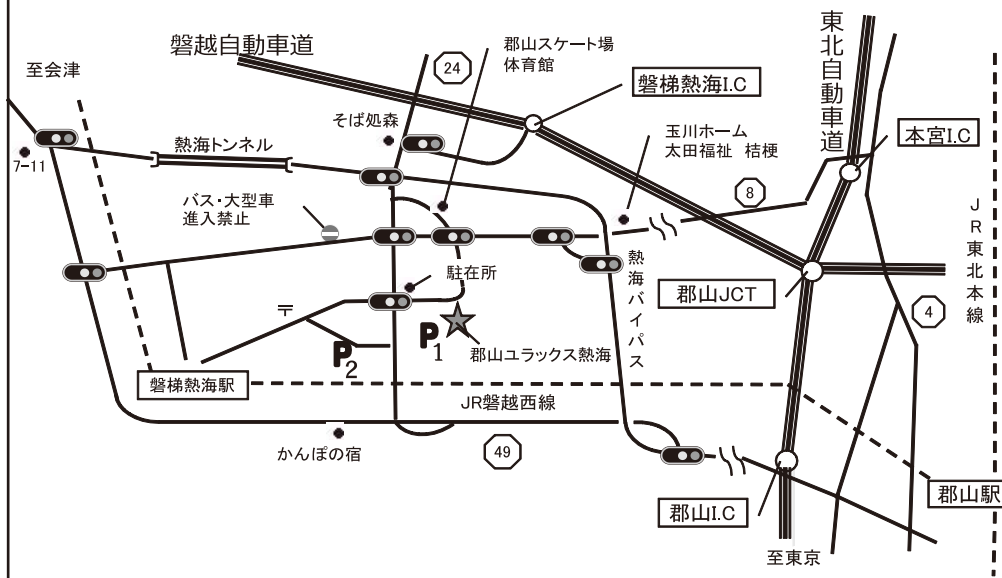
〈飛行機で〉

- 札幌 飛行機 (新千歳) 1時間 10分 福島空港 バス又は自動車 40分 磐梯熱海
- 大阪 飛行機 (伊丹) 1時間 15分 仙台空港 バス又は自動車 2時間 30分 磐梯熱海

公共交通機関をご利用の場合



マイカー・貸切バス等をご利用の場合



大会会場 郡山ユラックス熱海

交通 ・ アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩 磐梯熱海駅から 10 分 ・J R 東北本線郡山駅下車、磐越西線乗換 磐梯熱海駅下車 ・お車 磐越自動車道磐梯熱海インターから県道 24 号を郡山 JCT 方面 2 Km 5 分 ・飛行機 福島空港からお車で 40 分
駐車場	郡山ユラックス熱海第 3 駐車場 (P 1)・磐光跡駐車場 (P 2) ＊大型バスは磐光跡駐車場をご利用ください

※臨時列車の運行予定 P23 をご参照ください。



参加申し込み方法①

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

参加費・申し込み方法・申し込み締切

◇大会参加費

- 作業所・施設利用者 5, 0 0 0 円
- その他の参加者 1 0, 0 0 0 円

◇お申し込み方法（インターネット受付）

きょうされん本部のホームページまたは、きょうされん福島支部ホームページより「きょうされん第 36 回全国大会 in 東北・ふくしま」申し込みバナーをクリックして必要事項を入力後、送信をお願いいたします。
申し込み受付後、予約確認メールを返信致します。

◇お申し込み方法（FAX 受付）

●同封の参加申込書に必要事項を漏れなくご記入の上 (FAX:024-528-1188) までお申し込みください。
なお、間違い防止のため、お電話での受付は致しかねますのでご了承ください。

●申し込み受付後、4 日 (土日祝日を省く) 以内に受付印を押印し、FAX でご返信致します。

* 万一返信がない場合は、申込書が届いていない場合がございますので、お電話にてお問い合わせいただきますようお願いいたします。

●予約のご回答・ご請求・ご精算は申込代表者様にまとめて行います。

ご請求先が別々の場合は必ず申込書を分けてご記入ください。

●航空券・JR 券お申込希望の方は「航空券・JR 券等申込書」にご記入の上、参加申込書とともに FAX:024-528-1188 にお申し込み下さい。

なお、「航空券・JR 券等申込書」の申込締切日は、6 月 14 日 (金) とさせていただきます。

郡山～磐梯熱海間で「臨時列車」の運行を予定しています (※23P) 。

申し込み締切日：2013 年 7 月 20 日 (土) 必着《期日厳守》



参加申し込み方法②

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

参加費支払・キャンセル等

◇費用お支払方法

●8月31日までにタビックスジャパンより申込書ごとに、請求書、宿泊券、等各種書類を送付致します。内容をご確認の上、指定口座にまとめてお振込み下さい。お振込み手数料は参加者負担となりますのでご了承ください。

◇領収書について

●領収書が必要な方は、参加申込書の領収書要・不要および宛名欄にご記入下さい。大会当日、タビックスジャパングラス(会場内)にてお渡しいたします。

◇お申し込み後の変更・取消・追加について

●お申し込み同様、お電話での受付は致しかねますのでご了承下さい。
●申込書の右上の変更・取消・追加のいずれに該当するものに○印をお付け頂き、FAXにてご連絡下さい。
(その際、二重線での変更・取消箇所がわかるように加筆・修正お願い致します。)
お申し込み同様FAXにて返信致します。※インターネット受付の方もFAXでのご連絡とさせていただきます。

◇キャンセル料について

●大会参加費・宿泊・観光

8月31日まで	9月1日～9月13日まで	9月14日～9月19日まで	9月20日	当日	旅行開始後無連絡不参加
無料	代金の20%	代金の30%	代金の40%	代金の50%	代金の100%

●大交流会(一次会、二次会)参加費用・昼食(弁当)

9月19日まで	9月20日まで	9月21日以降
無料	代金の50%	代金の100%

【お申し込み・お問合わせ先】

(株)タビックスジャパン 福島支店 「きょうされん福島大会デスク」係

〒960-8035

福島県福島市本町5-8 第一生命ビル2階

TEL:024-528-1222 FAX:024-528-1188

営業時間: 平日9時30分～17時30分(定休日 土日祝日) 担当: 野地・矢部・橋本・須田



参加申し込み方法③

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

申込書記入

◇参加申込書の①～⑬の欄は下記参照の上、ご記入願います。

①「一般」の方の参加区分については、下記の項目より該当の番号をご記入下さい。

1. 作業所・施設職員 2. 親・家族 3. 作業所・施設関係者 4. 教職員
5. 医療関係者 6. 行政関係者 7. 学生 8. ボランティア 9. その他

②車椅子利用の方のみ電動・手動いずれかに○印をご記入下さい。

③障がい名については、下記の項目より該当の番号をご記入下さい（複数記入可）。

1. 知的 2. 精神 3. 上肢 4. 体幹 5. 下肢 6. 言語 7. 平衡機能 8. 内部
9. 視覚 10. 聴覚 11. 難聴 12. てんかん 13. 発達障がい 14. 難病 15. その他

④障がいのある方への介助は、原則各作業所・施設にてお願いいたします。なお、現地による援助者が必要な場合は○印をご記入下さい。また、援助内容の詳細は別紙「利用者のサポート希望カード」にご記入の上、実行委員会事務局（FAX：024-983-3543）まで送信して下さい。

⑤希望する分科会・利用者フォーラム等の番号（※15P）を参照の上、第二希望までご記入下さい。それぞれ定員になり次第、締め切らせていただきます。なお、観光ご希望の方はお申し込みできません。

⑥観光コース（※14P）をご参照の上、参加希望コースをご記入下さい。各コースとも定員になり次第締め切らせていただきます。なお、分科会等をご希望の方はお申し込みできません。

⑦特別企画（※13P）に参加される方は、○をつけてください。

⑧交流会1（※10P）[華の湯18：30～]の参加をご希望の方は○印をご記入下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

⑨交流会2（※10P）[清稜山倶楽部19：30～]の参加をご希望の方は○印をご記入下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。なお、リステル猪苗代に宿泊のお客様は2次会のみ参加はできません。

⑩宿泊のご案内（※16P）をご参照の上、第一希望・第二希望まで申込記号をご記入下さい。なお、宿泊の手続きは受付順とさせていただきます。ご希望がある場合は、早めにお申し込み下さい。

⑪弁当（昼食）は、1,000円／1食（税込、お茶付）です。ご希望日に○印をご記入下さい。（22日の観光コースにご参加の方は、昼食代は費用に含まれております）

⑫国内旅行傷害保険につきましては、国内旅行傷害保険のご案内（※24P）をご参照の上、加入される場合は、ご希望タイプに○印をご記入下さい。（上段1泊2日、下段2泊3日まで）

⑬入金後に変更・取消があった場合の返金の振込先をご記入下さい。金融機関・支店名・口座番号・口座名義人を必ずご記入下さい。



参加申し込み方法④

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

臨時列車の運行について

ご利用希望の方は、6月14日（金）までにお申し込みください。

『きょうされん第36回全国大会 in 東北・ふくしま号』（郡山駅～磐梯熱海駅間の在来臨時列車）の運行を予定しています。（5月中旬頃決定）

〈内容予定〉

9月21日（土）在来線 郡山駅 12：10頃発 磐梯熱海駅 12：27頃着

※大会参加者専用列車となります。三連休で定時便の混雑が予想されます。是非、ご利用ください。

【臨時列車の運行が決まった場合】

『きょうされん』または、きょうされん福島支部『きょうされん第36回全国大会 in 東北・ふくしま』のホームページ内でご案内いたします。

お申し込みは、「航空券・JR券等申込書」をご記入頂きFAX、またはインターネット申し込みフォームより「航空券、JR券等申込書」を送信しお申し込み下さい。

※インターネット申し込みは、2013年4月13日から受付を開始いたします。

※運行3ヶ月前には、臨時列車の最小催行人員400名が乗車する見通しを立てる必要があります。

東北新幹線団体割引について

ご利用希望の方は、6月14日（金）までにお申し込みください。

		東京駅【発】⇒郡山駅【着】		途中停車駅	
①	やまびこ 55号	09：40	⇒ 10：57	（大宮・宇都宮）	（100名分）
②	やまびこ 133号	10：08	⇒ 11：28	（大宮・宇都宮）	（100名分）
③	やまびこ 57号	10：40	⇒ 11：57	（大宮・宇都宮）	（100名分）
乗車券+指定特急券（片道） 一般団体割引適用 ￥7,170（定価￥7,970）					

※途中乗車（大宮・宇都宮）の場合と身体・知的障がい者手帳をお持ちの方は、料金をお問い合わせください。

※ご利用を希望される方は、「航空券・JR券等申込書」にて指定とお申し込みください。

なお、車イス専用座席は各時間帯の列車に1座席しかありません。

定員になり次第締め切りとさせていただきます。

送迎バスについて

500円バスをご利用希望の方は、6月14日（金）までにお申し込みください。

リステル猪苗代と磐梯熱海温泉街をA～Eの3つのエリアに分け、100円バスを運行します。磐梯熱海駅近辺エリアは、徒歩移動が可能ですが、交流会場エリアまで距離がありますのでご希望される方は、ご利用ください。

【会場⇒宿泊先・交流会場】

停留所は、17Pのマップをご参照下さい。

大会終了後、会場（郡山ユラックス熱海）と郡山駅の間で500円バスを運行します。

ご利用希望の方は、「航空券・JR券等申込書」にて事前にお申し込みください。

※仙台空港、福島空港をご利用される際の送迎バスの費用は、航空券費用に含まれております。

国内旅行保険

大会テーマ

ここから「つたえ つなぎ はじめる」

国内旅行傷害保険のおすすめ

この度は、タビックスジャパンをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

この旅行が楽しく充実した思い出となりますようお祈り申し上げます。

旅行は、みなさまの生活をより豊かにしてくれますが、“旅行でケガをした”などということが起こらないとも限りません。そのような“万が一のケガ”にそなえて、“旅行のお守り”として国内旅行傷害保険をおすすめいたします。是非とも、ご加入いただきますようお願い申し上げます。

●この保険にお申込みいただける方、被保険者になれる方は

株式会社タビックスジャパンが実施する国内旅行に参加し、保険をお申込みいただく方に限ります。

ご加入タイプと保険料

国内旅行傷害保険 加入タイプ一覧表（1人あたり）

旅行日数		1泊2日まで	3泊4日まで
タイプ		FK1	FK2
保険金額	死亡・後遺障害	1,000 万円	915 万円
	入院保険金（1日あたり）	5,000 円	3,500 円
	手術保険金	入院保険金をお支払いする場合で、手術の種類に応じて、入院保険金（1日あたり）の10倍、20倍、40倍の金額	
	通院保険金（1日あたり）	3,000 円	2,000 円
	賠償責任	4,000 万円	4,000 万円
	携行品損害（自己負担額※3千円）	5 万円	5 万円
	救済者費用等	50 万円	50 万円
保険料		500 円	500 円

※自己負担額は、支払保険金の計算にあたって損害の額から差し引く金額で、自己負担となる金額の事です。

保険料のお支払いは

国内旅行傷害保険のご加入を希望される方は、ご旅行の出発前までに払込取扱票（振込用紙）の国内旅行傷害保険（加入します）に○印の上、保険料を旅行代金と一緒にお支払いください。国内旅行傷害保険のご加入を希望されない方は、払込取扱票（振込用紙）の国内旅行傷害保険（加入しません）に○印の上、旅行代金のみをお支払いください。

尚、以下の場合は所定の方法（国内旅行傷害保険加入カード等）にて国内旅行傷害保険をお申込の上、ご旅行の出発前までに保険料をお支払いください。

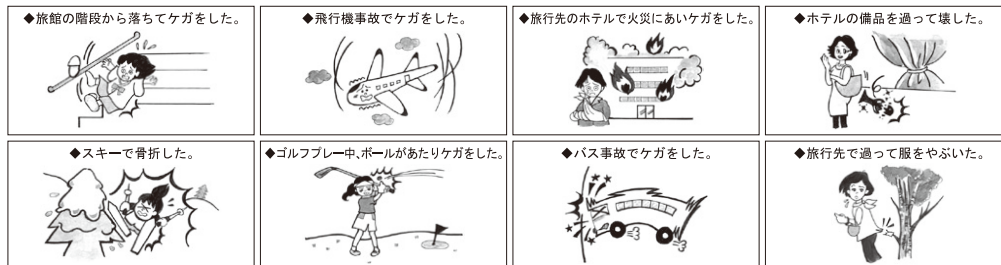
○払込取扱票を利用しない方のお申込

○5名さま以上でのお申込

○告知事項がある方のお申込

この保険の補償の対象

この保険は、ご自宅を出発してからご自宅へ到着するまでの以下のようなケガ等が補償の対象となります。



〈取扱代理店〉



観光庁長官登録旅行業第197号

タビックス ジャパン

福島支店

〒960-8035 福島県福島市本町5-8
福島第一生命ビル2F

TEL. 024-528-1222

〈引受保険会社〉

三井住友海上火災保険株式会社

航空運輸産業部 営業二課
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1

TEL. (03) 3259-4135